

カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



昔ながらの手植えに挑戦

(5月27日 備中宇治彩りの山里・農村公園)

「あいがも合鴨農法お田植え祭」(宇治町ふるさと農法研究会主催)が行われ、国際協力機構(JICA)の研修生や倉敷市内の児童らが、地元の人たちの指導を受けながら田植えに挑戦。参加者たちは、ぬかるむ足元に苦戦しながらも、初めての田植えを楽しんでいました。

また、アイガモの進水式や草餅つき、そば打ちなども行われ、高原の自然を満喫していました。

水の事故を防ごう

(5月25日 湯野小学校)

プール開きを前に、各小学校では救命講習会を開催。湯野小学校では児童3人をはじめ、教員、保護者ら10人が受講しました。

2つのグループに分かれて、消防署員が人工呼吸法やAED(自動体外式助細動器)の使用法を説明。受講者は実際に体験してみて、素早い対応の大切さを実感しました。



正しい発声法を学ぼう

(5月26日 文化交流館)

心豊かなまちを目指して推進している童謡のまちづくり事業の一環として、「平成19年度岡山県春期合唱講習会」が開かれました。

声楽家・おおしまめいこ大志万明子さんを講師に「やさしいヴォイス トレーニングX」と題した講習が行われ、参加した合唱団員らは、今後の合唱活動に生かそうと、熱心に受講していました。



県操法訓練大会で 有漢方面隊 5位入賞

(5月20日 岡山県消防学校)

「第54回岡山県消防操法訓練大会」が行われ、市の代表として有漢方面隊(ポンプ車操法の部)と川上方面隊大賀分団(小型ポンプ操法の部)が出場しました。

有漢方面隊が見事5位入賞を果たし、高梁市消防団は県操法訓練大会において、6年連続入賞となりました。





映画「釣りバカ日誌」ロケ

(5月23,24日 西江邸)

人気映画「釣りバカ日誌18」の撮影が県内各所で行われ、市内でも2日間撮影が行われました。

ロケ地となった西江邸（成羽町坂本）では、通称スーさん（三國連太郎さん）とヒロインの寺の娘・珠恵（檀れいさん）が、瀬戸内海でリゾート開発を進める岡山財界のドンを訪れるシーンなどが撮影されました。

「釣りバカ日誌18」は、通称ハマちゃん（西田敏行さん）とスーさんのコンビが瀬戸内海を舞台に、珠恵らとともにリゾート開発計画に反対するストーリー。

9月8日から全国ロードショー。岡山では8月25日から先行上映されます。

農村の魅力に触れる

(5月30日～6月1日 宇治町内)

宇治地域まちづくり推進委員会は、農村の暮らしや農業を体験してもらうため園田学園（兵庫県尼崎市）の中学生を毎年この時期、2泊3日で受け入れており、今年は2年生27人が訪れました。生徒は3人ずつ9戸の農家に分かれて、ハウス栽培ピオーネの袋かけや田植え、ハエ釣りなどを体験し、地域の人との交流を深めました。中学生の受け入れは今回で6回目。



多彩なスポーツにチャレンジ

(5月27日 高梁小学校)

「総合型地域スポーツクラブ」設立準備委員会の主催で、スポーツ体験イベント「あそびんごの日」が開催されました。同クラブは、各地域のさまざまなクラブを集約し、会員が複数の競技を気軽に楽しむことができるのが特長で、2月の設立を目指して準備が進められています。

参加者たちは、ニュースポーツの一つ「スナッグゴルフ」（プラスチックのゴルフクラブを使用してゴム製ボールを的に向かって打つ競技）や太極拳、エアロビクス、紙飛行機づくりなどに挑戦しました。



大きくなあれ お芋さん

(6月1日 下谷町内)

高梁幼稚園と高梁南幼稚園の園児67人が、サツマイモの苗植えを行いました。これは、次代を担う子どもたちに農業体験を通じて農業に関心を持ってもらおうと、市が毎年実施しているもの。

園児たちは秋の収穫を楽しみにしながら、鳴門金時とパープルスイートロード（良食味の紫イモ）の計300本の苗を、約1坪の畑に1本ずつ丁寧に植え付けました。



今月の 表紙

僕だって登れるぞ! ～フリークライミング講習会～

6月3日、用瀬嶽フリークライミング広場（備中町志藤用瀬）で、初心者を対象とした「フリークライミング講習会」（備中町フリークライミング協会主催）が行われました。

参加した市内の小学生23人が、斜度80度前後、高さ約15mのコースに挑戦。足がすくんで途中で断念しかける児童もいましたが、友だちの声援やスタッフのアドバイスを受け、大半の児童がコースの最終地点まで登り切っていました。